



【北ガスジェネックス株式会社 会社概要】

- ・所在地—本社:札幌市東区伏古8条2丁目7番1号
営業所:小樽、北見、恵庭、岩見沢、厚真・日高サービスセンター
- ・設立—1967年(昭和42年)12月12日
- ・資本金—8,000万円
- ・売上高—71億3,700万円(2017年3月期)
- ・従業員数—189名(2017年4月1日現在)

【事業内容】

1. 液化ガス、石油製品の販売
2. 液化ガス、石油製品に関する機器の販売、施工、貸付
3. ガス事業法に定めるガス小売事業(コミュニティガス)
4. 電気供給事業
5. 管工事の設計および施工
6. 建物および付帯設備の清掃および営繕
7. 建築資材・台所用品・日用雑貨品・食料品の販売

第17回会員企業トップインタビューは、2017年12月に創立50周年を迎えた北ガスジェネックス株式会社 杉岡社長に伺いました。同社は、1967年12月北ガスグループのLPガス事業部門として創業、人口や団地が急増した高度経済成長期、都市ガスの導管整備に先駆け、ガスを必要とするお客さまへいち早くお届けしたいという思いで設立された会社です。以来、全道8万世帯のお客さまにLPガスや灯油を供給するほか、ハウスクリーニングなど生活に密着したサービスを提供しています。

Q. 貴社の沿革をお聞かせください。

A. 1967(昭和42)年、北海道瓦斯株式会社の全額出資により、北ガス燃料株式会社としてLPガス燃料販売を開始しました。1977年に本社社屋を東区伏古に移転新築、1993年8月に北ガスジェネックス株式会社に商号変更し、現在に至っています。

Q. GENEXの起源をお聞かせください。

A. Global(グローバル)な視野を持ち、Energy(エネルギー)の明日を見つめ、幅広くNetwork(ネットワーク)していくX(未知の可能性)にあふれた総合企業でありたいという願いが込められています。

Q. 企業理念・ビジョン等をお聞かせください。

A. 北ガスグループビジョンは、「次代のエネルギーを考え、北の生活文化を創造する『地域のパイオニア』をめざす」です。当社は昨年末に50周年を迎えたことを機に、プロジェクトチームで話し合い、2020年に向けた事業ビジョンを「エネルギーからおもしろいを創造する」に決めました。お客さまに「安心」「さすが」と云っていただけるような高度な技術力を磨くだけではなく、これまでのエネルギー企業のイメージを超える「おもしろい」サービスを提供していきたいと考えています。「地域の皆さまの期待に応えたい」という創業の原点に立ち返り、社員一人ひとりが「考働」することによって、お客さまだけの「気持ちいい暮らしの実現」を目指します。

Q. 貴社の社風、個性、社員気質などをお聞かせください。

A. 創業以来、旺盛な行動力と自由闊達に意見を交わす雰囲気があり、「一丁やってやるか」の気持ちで、考えるより行動というように積極的に取り組む姿勢がありますね。

Q. 昨今、採用活動が厳しさを増しているといわれていますが、社員の採用状況や方針等をお聞かせください。

A. 応募数が減ってきた反面、いい人材が入ってきています。毎年5~6名採用しており、大卒中心に高専・高卒も1名ずつ、その内半数は女子です。特に営業面では取引先や顧客から女子の評価が高く、応対連絡票などに後工程への心配り・視点が活かされています。

Q. 当本部事業の第2期北海道経営幹部育成塾から継続してご派遣いただいておりますが、人材育成方針等をお聞かせください。

A. 社員教育は、コンサルへ委託し内製化しています。管理職前のアセスメントや年代別で実施しており、職場や年代別ミーティングにも入ってもらい組織の活性化に繋げています。一方、経営幹部の育成は、社外の方々との切磋琢磨が大切と考え、貴本部の講座へも派遣しています。部次長クラスの参加者が多いように感じており、上位役職者も入るとより一層活発なコミュニケーションが図れるのではないかと考えています。

Q. 次年度に向けて検討させていただきます。社長にご就任後、特に印象に残る仕事・事柄をお聞かせください。

A. 就任時、「皆で外に行こう」と云ったら反応が良かったので、特別チームを作り本社地区の顧客への訪問活動を通じて要望等伺い、部門全体の顧客対応等に反映し、他部門と共有化したこと。また、3年間毎月朝礼を実施し、環境変化の中におけるガス事業

の課題等を中心にメッセージを発信しました。その内容を各事業所にもタイムリーにネット配信し、共有化を図ったことも印象深いですね。

Q. エネルギー企業として、ハウスクリーニングを手掛けていますね。

A. この事業は、2002年に立ち上げ、現在8名のスタッフで運営しています。エネルギー企業がハウスクリーニング（ガステーブル回りや換気扇、浴室の清掃）分野に進出したのは、生活に密着したサービスをご提供することにより、一人ひとりのお客様だけの気持ちいい暮らしを応援するためです。



ハウスクリーニングの様子

Q. 北海道文教大学と産学包括提携協定を締結されましたが、経緯やエピソードなど教えてください。

A. 恵庭市の産業祭で、同大学の商品開発研究会が自分たちで開発した商品を販売しており、そのブースの先頭に立って宣伝していたのが板垣先生です。偶然の出会いがきっかけで一昨年11月に産学包括連携協定を締結しました。締結後は、当社恵庭営業所のフリースペースで学生主体の料理教室を定期的で開催しており、地域の方々の参加により学生にとっても社会勉強の場になっていると聞いています。

それとは別に、ガス炊きに適したお米がないのだろうかとの社員の疑問からスタートした産学連携プロジェクト。50周年を記念して作ったのが、ブレンド米「おりひめ」「ひこぼし」です。道産の「ななつぼし」「ゆめぴりか」「あやひめ」の3品種を選定し、ブレンドの比率を変えることで、甘みが強い「おりひめ」と、粘りが強い「ひこぼし」が誕生しました。



北海道文教大学と産学包括提携協定を締結(左)
ブレンド米「おりひめ」と「ひこぼし」(右)

同大学の食品開発研究会の皆さんやお米マイスターでもある千野米穀店の徳永社長様にご協力いただき製品化したものです。



ブレンド米完成発表会の様子

Q. 地域社会貢献型会員サービス「ブランケットメンバーズ」とは、どの様な取り組みですか。

A. “ソーシャブル”（地域社会への貢献:社員による造語）を目指して昨年11月からスタートしたサービスで、「かけつけ」サービスに加え、スマホアプリを活用してお得や便利を提供するサービスです。盲導犬協会への寄付など、社会貢献も考えています。

Q. 創立50周年を迎えた今の心境をお聞かせください。

A. 昨年12月、おかげさまで創業50周年を迎えることができました。これもひとえにお客さま、お取引先さま、地域社会の皆さまの長年にわたるご愛顧とご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。北ガスグループのLPガス事業部門としてスタートして以来、LPガス、灯油の販売、ならびに厨房・給湯・暖房等のエネルギー利用機器の販売を行ってまいりました。

エネルギー小売自由化と共に50周年を迎え、「エネルギーからおもしろいを創造する」をスローガンに、お客さまから寄せられる期待に一層お応えするとともに、社会的責任を果たしていく所存です。

Q. 今後、貴社はどのような活動をされていくお考えですか。

A. 現在、道内約8万件のお客さまにエネルギーをお届けし、毎日の生活に利用いただいております。今後はお客さま一人おひとりの「暮らし」に沿った、きめ細かい提案・サービスを行うことで、「気持ちいい暮らし」実現のお役に立ち、沢山のジェネクスファンを作りたいと考えております。また、地域にエネルギーを提供することで、私たち北ガスジェネクスと地域の皆さまが繋がり、さらには地域のお客さま同士が繋がるコミュニティをサポートしていきたいと考えております。北ガスグループの総合エネルギー事業の一翼を担う企業としても、最適なエネルギー利用提案、環境との調和やエネルギーコストの低廉化に努め、快適生活の実現を図ることが私たちの使命と考えております。今後とも、地域社会の発展や環境保全に貢献してまいりますので、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。